



イノベーションを加速する

ウィリアムズの F1 チームは、共同作業の改善やサーキットのインフラを充実させることで近代化し続けています。



“デル・プロサポートプラスは素晴らしい。例えば、私たちがブラジルのサーキットにいたとき、サーバに使う代えの電源ユニットが必要になったのですが、その夜エンジニアがホテルに戻ったときには、既に交換品が届いていました。”

フィル・クーパー氏 ウィリアムズ ITインフラマネージャ

カスタマープロフィール

WILLIAMS

会社名	ウィリアムズ
業界	スポーツ・ゲーム
国	イギリス
従業員数	700
ウェブサイト	www.williamsf1.com

ビジネスニーズ

第17回 F1 ワールドチャンピオンシップに向け、ウィリアムズは競合との差をつけるため従業員たちに最高のソリューションを与え、その IT サービスを改良し続けています。

ソリューション

ウィリアムズはデルと共に 2 つのプロジェクトを行いました。ひとつは彼らのメールやインスタントメッセージを Microsoft Office 365 サービスへ移行すること、もうひとつは彼らのサーキットや工場に Dell XC Web スケールハイパーコンバージドアプライアンスを導入することでした。

メリット

- チームは予算内で時間通りに移行を完了し、99%のユーザーが満足を得た。
- 使いやすいツールを用いて、従業員はより効果的に共同作業を行えた。
- 執行委員会は操作性の向上を即座に実感できた。
- エンジニアは、現場で数分間かかる分析の代わりに、ハイパーコンバージドアーキテクチャにより数秒でデータにアクセスできるようになった。
- シンプルな管理ができることで、他所での重要なアップグレードにスタッフがかける時間を、数日間も削減できた。
- 現場のインフラが軽装で済むため、各シーズンでの輸送費が15万ドル削減できた。

主なソリューション

- エンタープライズデプロイメント
- エンタープライズサポート
- ソフトウェアデファインドストレージ
- モビリティ

フォーミュラ 1 (F1) はモータースポーツの華であり、至
高のドラマと最高に魅力的なレースが繰り広げられ、膨大な
数の人々がそれを見に集まります。ウィリアムズの血統を継
ぐチームはごくわずかであり、1977年にフランク・ウィリ
アムズによって創設されて以来、多くのチャンピオンシップで
勝利を獲得してきました。

今でもウィリアムズのチームは、依然最も
高いレベルで戦っており、事業全体で700人
におよぶ従業員が、17回目のチャンピオン
シップを勝ち抜くために力を合わせていま
す。

「IT は私たちが行うこと全てのベースに
なっています。」 IT インフラマネージャの
フィル・クーパー氏はこう話します。「シス
テムをモニターするノート PC がなければ、
コンセプトや初期デザインもできませんし、
サーキットで車を走らせるどころか、発進さ
せることすらできないでしょう。」

最近、ウィリアムズは長きにわたるサブ
ライヤであるデルと共に2つのプロジェクトを
開始しました。ひとつは共同作業を改善さ
せるためのもの、もうひとつは自社のサー
キットのインフラをアップグレードするた
めのものです。

チームはより優れた共同作業ツールを求めている。

グレアム・ハックランド氏がウィリアムズ
に IT ディレクターとして入社した時、執行
委員会は効率のよい共同作業の確立がトップ
プライオリティであり、チームの全体的な IT
戦略の一部と位置づけていました。委員会は
勝てる F1 カーを造り出すため、全てのス
タッフが正しいツールを思い通りに使いこな
せるようになることを望んでいました。会社
は既に IBM Notes から Microsoft Exchange
への移行を決めていました。ハックランド氏
はこう話します。「サービス・レベル・ア
グリーメントにおいて Office 365 の価格は非
常に優れていたため、私たちはオンプレミ
スのソリューションではなく Office 365 を
使っていくことに決めました。」

ウィリアムズはデルと2005年から共に事業
を行っており、両社は定期的に IT 戦略とロー
ドマップについてディスカッションを行って
います。ミーティングを重ねる内に、ハック
ランド氏はデルにならウィリアムズのシス
テム移行を任せることができると気付まし
た。「デルはシステムの移行をどのように進
めるかのベストなデザインを提案しまし
た。」ハックランド氏は続けます。「私たち
は、移行はこういうやり方で進めてほしいだ
とか、こういうことはしないでくれだとか、

いちいち口出しはせず、上手くいくよう全て
ベンダーに任せることにしました。」ハック
ランド氏はまた、デルの移行ツール
(Migrator for Notes to Exchange、
Coexistence Manager for Notes、
MessageStats 等) が、全従業員の既存のメー
ル、連絡先、カレンダーの情報を転送する最
良の方法だったとも考えています。

クラウドへの移行が大きな成功を呼ぶ

低く抑えられた予算、そして6カ月程度の
移行期間という2つの事柄は、ウィリアムズ
の執行委員会にとって申し分なく、大変喜ば
しいものでした。また、このような規模のプ
ロジェクトにも関わらず、トラブルもほとん
ど起こりませんでした。

“隣の人パイロット
プログラムを使ってい
るからと、毎日みんな
が私のところに来て移
行してほしいと頼んで
くるプロジェクトは、
私が関わった中でこれ
が唯一でした。ユーザ
の満足度は99%以上で
す。”

グレアム・ハックランド氏 ウィリアムズ
IT ディレクター

製品とサービス

サービス

デル・プロサポートサービス
-デル・プロサポートプラス

デル・マイグレーションサービス

デル・コンサルティングサービス

デル教育サービス

ハードウェア

Dell XC シリーズ Web スケール
コンバージドアプライアンス

ソフトウェア

Migrator for Notes to
Exchange

Coexistence Manager for
Notes

MessageStats

パートナー

Microsoft Office 365

ハックランド氏は言います。「隣の人がパイロットプログラムを使っているからと、毎日みんなが私のところに来て移行してほしいと頼んでくるプロジェクトは、私が関わった中でこれが唯一でした。新しい環境でのユーザーの満足度は99%以上です。」執行委員はそのほとんどが離れた場所で勤務しているため、特にメールへのアクセスが容易になった点に直接的な利便性の向上を見出しました。

ハックランド氏は、この成功にはいくつかの要因があり、デルとウィリアムズの緊密な関係が少なからず関わっているとしています。デルのプロジェクトは移行を管理し、執行委員会に毎週最新情報を報告し、ユーザには好みに合わせ Dell LEAP やポータルサイト、デルのトレーニングサービスの一部を通して教材を提供していました。「他に私たちが気に入っていたのはデルのワークショップで、各システムが移行する度に参加していました。」とハックランド氏。「各システムの移行後数日間は、デルのスタッフがフロアウォーキングのスタイルで、移行に関するユーザのさまざまな質問に対応していました。」

共同作業をもっと簡単に

ハックランド氏は移行を行ってから内部・外部共に共同作業の効率が向上したと考えています。「私たちは世界中のサードパーティやさまざまなデザインチームと一緒に作業しています。(移行したおかげで) これが更に容易になりました。」と彼は言います。

「Office 365で連携しているため、私たちの電源ユニットサプライヤとの共同作業の効率は、サーキットでも工場間でも劇的に向上、つまりコミュニケーションがはるかに容易になったのです。」このプロジェクトがどのようにして順調な成功を収めたのかを具体的な形で言い表すことは難しいのですが、ハックランド氏はその有益さには自信を持っています。「これはビジネスの成功とパフォーマンスの向上に役立つだけでなく、より最新のITツールへ移行する戦略の一部なのです。」と彼は言います。

ひとつの成功から次の成功へ

Office 365への移行から少し経ち、ウィリアムズは再びサーキットと工場のインフラでデルと関わることを選択しました。レースの期間中、サーキットのインフラはチームとともに世界中を巡り、オペレーション全体の力となり、データ分析からメールの送信まで120人を超えるスタッフを支えます。ハードウェアは過酷な環境に耐えなくてはならず、埃や湿気の多い、空調もないガレージに設置されるため、ウィリアムズは2年ごとにハードウェアの入れ替えを行っています。

ストレージとコンピュータを再考

単なるハードウェアの入れ替えだけでなく、フィル・クーパー氏と彼のチームはそれまで使用していたデルの仮想サーバとストレージに代わるものに着目することにしました。車のテレメトリーシステムからの膨大なデータセットと、高解像度のビデオの多用により、ストレージの入出力にボトルネックが生じています。そのためエンジニアは分析のためにデータセットを開くだけでも最大3分の時間を要します。彼らは車のチューニングに1時間しか使えず、一度に複数のデータセットに対処しなくてはならない場合、一分一秒を争う状態となるのです。

ウィリアムズとデルの緊密な連携によりクーパー氏はコンピュータリソースとストレージキャパシティが一つのシャーシに一体化された統合型ソリューションを試すことに決めました。デルは Nutanix の Web スケールハイパーコンバージドアプライアンスであるXC シリーズでこれに応えました。クーパー氏と彼のチームはいくつかのベンチマークテストを実施しました。「その恩恵は大変大きく、ハイパーコンバージドアーキテクチャへの移行は考えるまでもなく明白なことでした。」とクーパー氏は言います。「それは私たちが以前使っていたアーキテクチャとは大きく違ったものでした。さまざまな作業負荷をかけて試してみましたが、ネットワークに接続したストレージと比べ10~11倍のスループットを得ることができました。」



以前はデータセットにアクセスするのに2～3分かかっていたものが、現在エンジニアは同じデータセットに6秒ほどでアクセスできます。このためレース前に車の整備をする際、より多くの情報に基づいて決定することができます。

軽量化されたITが輸送費を削減

ウィリアムズは Dell XC をサーキットに4台、英国の工場に5台導入しました。ウィリアムズにとってもうひとつの利益は、機器の量が物理的に減ったことで、グランプリレースへ機器を輸送するコストが大幅に減少したことでした。クーバー氏は言います。「1シーズンで輸送費が15万ドル節約できました。現在はこのお金をレースカーの改良に回せるようになったので大きな利益です。」ウィリアムズの予測では3年のライフサイクルを経て、このソリューションはサーキットと工場共に投資額の100%を取り戻せると見えています。

世界中にわたるサポート

ウィリアムズはデルのソリューションのアーキテクチャを評価しましたが、デルと関わる重要な要因となったのはその素晴らしいサポートでした。チームがレースからレースへ移動しても、F1向けのデル・プロサポートプラスを通じたテクニカル・アカウント・マネージャ (TAM) が英国にあります。どこにいても TAM がどんなサポートの問い合わせも受け、地域のデルサポートチームにリレーします。

クーバー氏はこう語ります。「デル・プロサポートプラスは素晴らしい。例えば、私たちブラジルのサーキットにいたとき、サーバに使う代えの電源ユニットが必要になったのですが、その夜エンジニアがホテルに戻ったときには、既に交換品が届いていました。」

管理が容易になりスタッフが解放される

従来のサーバとストレージによる構成ではセットアップに2週間かかっていましたが、ハイパーコンバージドアーキテクチャではソリューションが統合されているため、ウィリアムズのスタッフはこれを1時間以内にセットアップすることができました。クーバー氏は言います。「管理に関してははるかにシンプルになりました。スタッフが解放されサーキットのネットワーキングやピットウォール、ガレージなどを整備することに専念できるようになりました。こういったことに取り組む必要は感じていましたが、既存の環境を維持することに忙殺されていたのです。」

勝利するチーム

ウィリアムズはデルとの新しいプロジェクトによって、チームが更に機敏になり、スタッフとサプライヤがより効率的に共同作業できるようになることを期待しています。このプロジェクトが、ウィリアムズにサーキット内外問わず成功するため必要とするパワフルなインフラをもたらすでしょう。

“1シーズンで輸送費が15万ドル節約できました。現在はこのお金をレースカーの改良に回せるようになったので大きな利益です。”

フィル・クーバー氏 ウィリアムズ
F1 インフラマネージャ

デルのお客様導入事例はこちら Dell.co.jp/CustomerStories

